

傍観者意識 改善マニュアル



「空気」を変えよう

～見て見ぬふりをせず、

勇気を出して行動を起こすために～

高崎市立 学校 年 組 名前

児童生徒のみなさんへ

「傍観者意識改善マニュアル」について

1 「傍観者意識改善マニュアル」とは

令和5年度の「いじめ防止こども会議」では、『『空気』を変えよう～見て見ぬふりをせず、勇気を出して行動を起こすために～』をテーマに、いじめの傍観者（ぼうかんしゃ＝いじめに対して見て見ぬふりをしている人、自分には関係ないと思っている人）に着目して協議を行いました。

この「傍観者意識改善マニュアル」は、^{はんべつきょうぎ}班別協議で出された意見を整理したものです。

①行動：傍観者がとるべき行動は、その子の^{せいかく}性格やいじめの^{じょうきょう}状況で変わってきます。^{こうか}班別協議では効果の大きさと難しさを考えながら、行動を^{なら}並べてくれました。「必ずこの行動をとる」というわけではなく、状況に応じて選んでいきましょう。

②環境・③支援：^に班別協議では、似ている意見をグループにしながら考えをまとめてくれました。各グループのタイトルを参考に、具体的な行動を選んでいきましょう。

2 「傍観者意識改善マニュアル」の使い方

「傍観者意識改善マニュアル」は^{さっし}冊子として配ることもできますし、先生方をお願いしてロイロノート等でデータで児童生徒のみなさんに送ることもできます。また、班別協議で出された意見を整理したページだけを^{けいじ}掲示したり、ワークシートを使って、児童生徒のみなさんに^{あらた}個人や学級で改めて考えてもらったりすることもできます。みなさんが各学校で取り組んでいるいじめ防止に向けた取組とうまく組み合わせて使ってみてください。

傍観者が行動を起こせば、いじめの半数以上は^{かいしょう}解消する、とも言われています。各学校の代表が話し合ってつくり上げた「傍観者意識改善マニュアル」を活用して傍観者の意識を変えることで、「高崎市いじめ防止こども宣言」にある「わたしたちは見て見ぬふりをせず、勇気を出して行動を起こします」という^{もんごん}文言の実現を目指しましょう。

高崎市教育委員会

「空気」を変えよう～見て見ぬふりをせず、勇気を出して行動を起こすために～

- ① いじめに気づいている傍観者はどんな行動をとればよいでしょうか。
効果の大きさと難しさを考えながら、行動を選んでいきましょう。

難しい

① 行動

簡単

いじめている子のいないところで、いじめられている子をなぐさめる

いじめられている子にさりげなく声をかける

悪口に同調しない

不快な思いをしていないか声をかけてみる

いじめている子に、いじめられている理由を聞く

いじめられている子に、周りに聞こえる声で話しかける

両方の立場の子のなやみや話を聞く

話し合いの場をつくる

いじめられている子がひとりにならないように、声をかけたり一緒に行動したりする

自分がやられたらどう思うか、いじめに関わる人全員で考える空気をつくる

いじめられていることを、クラス全体で共有する

自分もいじめられないよう、身近な大人などと話し合ってから行動する

傍観者で協力して大人に知らせる

いじめアンケートを書く

勇気を出して、いじめている子に優しい言葉で注意する

いじめられている子の相談相手になるなど、いじめられている子の代わりにいじめを終わらせる行動をとる

先生、スクールカウンセラーなど信頼できる人に相談する

効果が小さい

効果が大きい

「空気」を変えよう～見て見ぬふりをせず、勇気を出して行動を起こすために～

②傍観者が行動を起こせるようにするためにはどうしたらよいでしょうか。

いじめられている子の
未来、気持ちを考える

周りに合わせている人、何
をしたらよいか分からない
人が多いから、相手の立
場になって考え、行動する
ことで、「いじめはいけな
い」という空気を全体でつ
くる

自分がいじめを
受けているつも
りで考え、声を
かける

相手の立場に立
って、友達と言
葉で止める

相手の立場・自分事

友達と集団で声かけが
できるクラスをつくる

行動しなければいけな
いという空気をつくる

いじめを見て見ぬふり
をするのはよくないこ
とだと授業や学校生活
の中で伝えていく

注意し合える雰囲気をつくる

意見を言いやすい人間関係や
クラスの雰囲気をつくる

いじめはダメ、という雰囲気
をクラスでつくる（スローガ
ン、道徳）

雰囲気づくり

②環境

いじめが起こる前に日頃から

親や先生との関係をつくるため
に、学校のできごとを話す

相談するとなったときに、気軽
に相談できる場所をつくる

高崎サインを利用して、いじめ
られている子が SOS を出しやす
いシステムと雰囲気をつくって
おく

クラス外、学校外、地域外など
いろいろな人との関わりを増
やし、人の特徴などを知る

日頃からいろいろな人と話し
て、いじめられている子や周
りの子と信頼し合えるよう
にしておく

友達、学級、学校で話し合う

みんなで

複数人で相談して行動する

傍観者同士で力を合わせる
（複数で行動した方がいじめられ
る心配がなくなる）

「ちょっとこれいじめっぽいよね」
とか何人かと話し合う

仲間をつくる

「空気」を変えよう～見て見ぬふりをせず、勇気を出して行動を起こすために～

③勇気を出して行動を起こした傍観者を周りはどう支えればよいでしょう。

行動を起こした傍観者に続いて行動する

行動を起こした子をひとりにせず、自分も一緒に行動する。その人を中心に数名で話を聞いたり、止めたりする

傍観者の人が勇気を出して「やめなよ」と言ったら、他の傍観者の人も「私も見てました」と言ってみる

一緒に止めに入り、変わった空気をもう戻さないようにする

一緒に行動

行動を起こした子が不安にならないように支える

声をかけ、同じ気持ちだということを伝える

行動を起こした人が次のターゲットにならないように、孤立しないようかばってあげたり、先生に知らせたりする

孤立しないように友達の輪を作ったり、声をかけたりする

守る

③支援

声かけ

ありがとう

△△さんも少しは楽になったと思うよ

〇〇さんは間違っていないよ

よくやった

私もがんばる

すごい

接し方

いつもどおり接する。行動を起こしたことが特別にならないように

加害者が孤立しないようにするために、行動を起こした傍観者をほめすぎない

勇気を出した人が責められないように、ほめたり、たたえたりする

ひとりでいないか、悲しい表情をしていないか様子をうかがう

行動を起こした傍観者をほめるなどして、いい行動をしたと思ってもらう

感謝をこっそり伝える

傍観者意識改善マニュアルワークシート

() 年 () 組 名前 ()

◇「^{ぼうくわんしゃいしきかいぜん}傍観者意識改善マニュアル」をもとに次のような活動に取り組みましょう。

- 1 あなたがいじめに気づいたら、あるいは、勇気を出して行動を起こした傍観者を見たら、どんな行動をとりますか。あげられたアイデアをもとに、自分で行動を決めてみましょう。
- 2 みなさんの学校や学級でいじめに気づいたらどんな行動をとるか共通の^{やくそく}約束を作りませんか。学校や学級のみinnで話し合い、約束を決めてみましょう。

◇いじめ防止こども会議班別協議の視点（上の1，2の活動の際のメモ等で活用してください）

①いじめに気づいている傍観者はどんな行動をとればよいでしょうか。

②傍観者が行動を起こせるようにするためにはどうしたらよいでしょうか。

③勇気を出して行動を起こした傍観者を周りはどう支えればよいでしょうか。

先生に^{たよ}頼るだけでなく、自分たちでできるアイデアも考えたいね



◇アドバイス

- ・「いじめられている子に声をかける」というアイデアがあります。実際にどのような声をかけるのかまで決めておくと、行動がしやすいです。
- ・「勇気を出して行動を起こした傍観者を守る」というアイデアがあります。実際にどのような行動をとれば勇気を出した友達を守れるのか、さらに深く考えてみましょう。